

## 「だれもが笑顔で幸せになれる未来への手紙」受賞作品

### 【一般の部】

#### ○最優秀賞

「91歳の私」 木原 紀雄 さん (鳥取市)

昨今多少、認知機能の低下はありますが、年齢に似合わず壮健な身体で、今は亡き父母に感謝しています。独学の俳句は上達し某新聞の俳壇に毎週掲載されています。

頭髪は薄くなり真白毛ですが、身体は、しっかりしており、毎日、樗谿公園の大宮池まで歩いています。自動車の運転は、自宅から50kmぐらいは大丈夫です。

83歳の妻も元気ですが、家事は、お互いに助け合いの毎日です。妻も最近、俳句をはじめ私より上達が早いようです。

世の中も10年前には考えられなかったことが多くあります。箇条書にします。

一、国会議員や市町村議員は、男女同数という考え方がすすみ、また女性の社会進出もあり、女性の議員が増加したため、定数の半分は男性に限ることになりました。画期的なことです。

二、婚姻届を出す際、お互いに自由に姓を選択できるようになり、同姓でも別姓でもいのように法律が改正されました。妻は旧姓に変更しています。

三、高齢者の認知機能の低下をふせぐため高齢者専用の体育館や図書館の整備がすすめられ、使用に応じ、年末には図書券などが贈られる制度もあります。

最後にこれからの努力目標を述べます。

一、健康第一、今日お世話になっているドクターは不慮の事故や災害がなければ、百歳まで大丈夫と太鼓判を捺していただきました。

二、日本文学全集を再度、丁寧に読むこととします。まずは夏目漱石の第二巻からです。

三、国や社会に少しでも役に立つよう、今後の生活に困らぬ範囲で日赤に寄付したいと考えています。

#### ○優秀賞

「10年後の夫へ」 西村 さん (米子市)

お元気ですか？毎日お仕事おつかれさま。

いつも家事を分担してくれてありがとう。

10年経って、子供達が中学生と高校生になった今、あなたはもう家事のスペシャリストかな？

私も10年経って家事と仕事の両立がうまくできるようになっているかな？

子供達が小さかった頃は毎日慌ただしくて余裕がなくて、よくケンカしたよね。

「手伝って」が言えなくて、気づいてくれないあなたに怒ってしまっでごめんなさい。私はどこかで「家事は女の仕事」と思って意地をはっていました。でも「家事も育児も協力してするものでしょう！」というあなたの言葉に甘えてみると、とても楽になったよ。

こんな風に協力しあえる夫婦が、10年後はもっと増えているといいな。

これからもよろしくね。つぎは、孫の面倒も一緒にみよう！

「未来の自分へ」 西村 優生 さん (琴浦町立赤碕中学校1年生)

元気ですか？未来の自分はきっと、健康で、自分らしく生きていることでしょう。

今の自分は、誰かのために行動して、たくさんの人から「ありがとう」と感謝されるような人になりたいです。小さいことから始めていって、いつかは、自分の故郷に、きれいな海をつくりたいと思っています。いつかは、コロナ禍がおさまり、なに不自由なく生活ができるようになってほしいです。

未来の自分はどうなっているでしょう？未来のことなんて、誰にも分かりません。ですが、きっと笑いあって、楽しく生活しているにちがいありません。今の自分でも簡単に答えられます。

それは、なぜかって？それは、今も楽しいから、絶対未来も楽しいと思うからです。

「昔は、あんなことがあったよなー」「あったあった」みたいに、楽しくいろんな人と会話したいです。

未来での健康と楽しさ、笑いを願って、この手紙を送ります。

「20年後の夫へ」 Y O K O さん (倉吉市)

昭和生まれで平成の教育を受けて家庭科も男女必修、平成～令和の時代に子育てをしている私たち。目まぐるしい時代の流れの中で、「イクメン」の言葉にモヤッとする私。でもあなたは「イクン」レベルを飛び越えて、対等に私と家事育児をしてくれる。出会った頃とは比べ物にならない程、家事スキルをレベルアップさせたチャレンジ精神をいつも尊敬しています。我が子たちにも男女関係なく家事をさせ、男性も当たり前家事育児する背中を見せてくれることが何よりも嬉しいよ。

我が子たちが生きる時代、求められる力は未知だけど、それぞれの得意不得意を補い合って、自由に笑顔で社会にも家庭にも貢献できる大人になってくれることをこの先もずっと一緒に見守っていこうね。

令和3年の妻より

## 【小学生の部】

### ○最優秀賞

「未来の自分へ」 竹中 琉莉 さん (鳥取市立瑞穂小学校4年生)

未来の自分は元気でしょうか。未来の大切な家族も元気だといいです。未来の自分はもっとやさしい人になってほしいです。未来の家族も元気でやさしい家族がいいです。今、世の中ウイルスや病気いろいろなわるいことがあるので10年後、20年後の未来はウイルスや病気、せんそうなどがなく、みんながやさしく、おだやかな暮らしになってるといいます。

未来の自分はどんなことをしているのか、どんな仕事をしているかわくわくします。私は、いろいろなゆめがあるのでどれになるか楽しみです。今も未来もずっとみんなが幸せになってほしいです。未来の家族、自分、友達、いとも国の人たちも天国の人たちもいろいろな人がやさしい人達になってほしいです。

今の私のねがいは病気やウイルスがない、世界が平和になるです。10年～20年後の自分はどんなねがいがかなってほしいでしょうか。もしかしたら私といっしょかもしれない。ちがってもちがわなくても、ずっとやさしい自分でいれたらいいです。この世界もすこしずつ新しい世界になっていけたらいいなと思います。

## ○優秀賞

「笑顔で地球を包もう」 小椋 有華 さん (倉吉市立関金小学校4年生)

学校は、友達や仲良しの人と出会える、かけがえのないそんざいです。けれど、そんな学校で「いじめ」という、とても悲しく、相手の心をきずつけることをする人がいます。私は、だれかにうらみなどがあり、いじめをしても、相手を悲しませるだけで、いじめをした方のうらみが消える事はない、心にきずをつけた人はすぐ忘れてしまうけれど、相手は一生忘れられなくなるかもしれないと思い、いじめに反対します。実は私も、友達の苦しみに気づかず、友達にひどい事を言ってしまった事がありました。あやまったのですが、心に深くきずを負ったと思います。友達の笑顔をこわしてしまったという気持ちが頭を何度もよぎりました。

時がすぎると共に、笑顔で地球が満ちあふれ、悲しい顔がどこにでも見られない、楽しさと笑顔と幸せで地球が包まれますように…。

「10年後の私へ」 宍戸 萌衣 さん (倉吉市立上灘小学校4年生)

コロナウイルスは、なくなっていますか。今のマスク生活が早くなくなってほしいです。しょう来のゆめは、かなえていますか。はやく、パン屋さんになって、みんなを笑顔にできるようなパンをたくさん作りたいです。町は、どのように変わっていますか。私は、未来の町がどのようなになっているか、はやく知りたいです。万引きやゆうかい、こわいことやおそろしいことがなく、笑顔で元気な鳥取県になっているのを楽しみにまっています。お姉ちゃんは、やくざいしになっていますか。家族は、元気ですか。おばあちゃん、おじいちゃんは元気ですか。だれもが笑顔で幸せな鳥取県になっていますか。とてもまちどおしいです。はやく10年後の私に会いたいです。

「10年後の倉吉市へ」 道上 芙優 さん (倉吉市立上灘小学校4年生)

私は、倉吉市が10年後になったら笑顔で明るい倉吉市になってほしいなと思います。わけは、今は、コロナで多くの人がかかるしんだり悲しんだりしている人がいるので、コロナに負けないようにして笑顔で明るい倉吉市になってほしいと思います。あとコロナがふえているので、コロナにかからないようにしましょう。人を思いやることをわすれないでください。そうすれば悲しんでる人やくるしんでいる人がハッピーになって笑顔で明るく幸せになれると思います。みんなが笑顔で明るくなるとその人も幸せだし、私も幸せになれるからです。私は、10年後の倉吉市が今よりもっと幸せな町になってほしいと願っています。